

施工状況等報告書

2019 年 7 月 31 日

長野県知事 阿部 守一 様

佐久市長 柳田 清二 様
小諸市長 小泉 俊博 様
御代田町長 小園 拓志 様
軽井沢町長 藤巻 進 様

所在地 長野県佐久市中込 3056 番地佐久市役所内
名 称 佐久市・北佐久郡環境施設組合
組合長 柳田 清二

長野県環境影響評価条例第 32 条第 1 項の規定により、下記のとおり送付します

記

対 象 事 業 の 名 称	新クリーンセンター建設事業
報 告 対 象 期 間	2019 年 4 月 1 日から 2019 年 6 月 30 日まで
環境の保全のための措置	詳細は別紙添付資料のとおり
対 象 事 業 の 実 施 状 況	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】 事務所棟の基礎工事、工場棟の建築工事、プラント機械の 設置工事を行っている。

(備考) 必要に応じ、環境の保全のための措置の状況又は対象事業の実施状況に係る図面又は写真を添付すること。

施工状況等報告書添付資料「環境保全措置実施状況一覧表」

期間: 2019年4月1日～2019年6月30日

環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類
植 物	ヤ エ ガ ワ カ ン バ	成 木 の 移 植	4月22日に平成27年4月18日移植個体の生育確認（樹木活力度調査）及び管理 樹高12.2m(昨年12.0m)、胸高直径44.0cm(昨年41.0cm)、枝張り5.5m(昨年5.5m)であり、樹高と胸高直径が昨年より増えている。なお、発生しているキノコに生長などの変化は見られない。 枝先端には雄花序(雄花)と果穂(種子)が見られる。出葉はまだ始まっていない。	写真ヤエ-1
			5月16日に平成27年4月18日移植個体の生育確認（樹木活力度調査）及び管理 展葉したが一部の枝が枯れている。	写真ヤエ-2
			6月7日に平成27年4月18日移植個体の生育確認（樹木活力度調査）及び管理 展葉したが一部の枝が枯れている。枝のキノコにはまだ目立った生長は見られない。	写真ヤエ-3
		種 子 の 保 存 及 び 播 種 、 育 苗	4月22日に播種個体の生育確認及び管理 1) 平成27年4月23日播種個体の生育確認及び管理(植樹) 平成30年3月8日に事業実施区域内に移植(植樹)した幼木3個体は樹高42cm～54cm、根元直径7～14mmで、一部に出葉が始まる。 2) 平成27年4月23日播種個体の生育確認及び管理(ポット) 個体No. ④ 樹高26.0cm、根元直径7mm。出葉はまだ見られない。大きいポットに植え替えを行う。 3) 平成28年4月18日播種個体の生育確認及び管理(ポット) 個体No. ① 樹高33.0cm、根元直径8mm。出葉始まる。大きいポットに植え替えを行う。 4) 平成29年4月21日播種個体の生育確認及び管理(ポット) 個体No. ① 樹高28.5cm、根元直径7mm。出葉始まる。大きいポットに植え替えを行う。 5) 平成30年4月10日播種個体の生育確認及び管理(床蒔き、プランター) 床蒔きの発芽個体(実生)は消失した。プランター蒔きの幼木には出葉はまだ見られない。なお、幼木をプランターからポットへ植え替えた。植え替えは1ポットに幼木5本ずつ、計30ポット(幼木150本)とした。幼木の樹高は約2～6.5cmで根元直径は1mmである。	写真ヤエ-4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13
			5月16日に播種個体の生育確認及び管理 1) 平成27年4月23日播種個体の生育確認及び管理(植樹) 平成30年3月8日に事業実施区域内に移植(植樹)した幼木3個体は樹高42cm～56cm、根元直径7～14mmで、展葉した。No. ⑤は葉の形状からシラカンバの可能性が高い。 2) 平成27年4月23日播種個体の生育確認及び管理(ポット) 個体No. ④ 樹高26.5cm、根元直径7mm。展葉した。 3) 平成28年4月18日播種個体の生育確認及び管理(ポット) 個体No. ① 樹高34.0cm、根元直径8mm。展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。 4) 平成29年4月21日播種個体の生育確認及び管理(ポット) 個体No. ① 樹高29.0cm、根元直径7mm。展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。 5) 平成30年4月10日播種個体の生育確認及び管理(ポット) ポット30個へ植え替えた幼木150本は樹高2.5cm～7.5cm、根元直径1mmで展葉した。	写真ヤエ-14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21

環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類
植 物	ヤエガワカンバ	種子の保存及び播種、育苗	6月7日に平成27年4月23日播種個体の生育確認及び管理 平成30年3月8日に事業実施区域内に移植(植樹)した幼木3個体は樹高51.5cm～65cm、根元直径7～14mmで、十分に展葉した。No. ⑤は葉の形状からシラカンバの可能性が高い。	写真ヤエー 22, 23, 24
			6月11日に播種個体の生育確認及び管理 1) 平成27年4月23日播種個体の生育確認及び管理 個体No. ④ 樹高26.5cm、根元直径8mm。十分に展葉した。 2) 平成28年4月18日播種個体の生育確認及び管理 個体No. ① 樹高36.0cm、根元直径10mm。十分に展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。 3) 平成29年4月21日播種個体の生育確認及び管理 個体No. ① 樹高31.0cm、根元直径7mm。十分に展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。 4) 平成30年4月10日播種個体の生育確認及び管理 ポット30個へ植え替えた幼木150本は樹高5.5cm～11.5cm。順調に生長している。	写真ヤエー 25, 26, 27, 28, 29
	オニヒョウタンボク	成木の移植	5月16日に平成27年4月20日移植個体 (No. 1～No. 8) の状況確認 (樹木活力度調査) 全ての個体で順調に展葉し、開花や結実している。No. 6に一部虫食い跡が確認された。	写真オニー 1, 2, 3, 4
		種子の保存及び播種、育苗	5月16日に播種個体及び挿し木個体の育苗状況確認 1) 平成27年7月15日播種個体の育苗状況確認 生存していた1個体は枯死した。 2) 平成29年6月29日播種個体の育苗状況確認 No. ③は樹高5.5cm、根元直径2mmで展葉した。 3) 平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認 (発根促進剤使用) No. ⑪は枯死した。 No. ⑰は樹高21.0cm、根元直径6mmで展葉した。なお、この個体は5月9日に開花していた。 4) 平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認 (発根促進剤使用) 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗 (駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土+腐葉土で育苗) の18本中16本で展葉あり。 挿し木から発根後まで日向で育苗 (駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土+腐葉土で育苗) の18本中11本で展葉あり。	写真オニー 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11
			6月11日に播種個体及び挿し木個体の育苗状況確認 1) 平成29年6月29日播種個体の育苗状況確認 No. ③は樹高6.0cm、根元直径2mm 2) 平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認 (発根促進剤使用) No. ⑰は樹高21.5cm、根元直径6mm 3) 平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認 (発根促進剤使用) 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗 (駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土+腐葉土で育苗) の18本中6本で葉あり。 挿し木から発根後まで日向で育苗 (駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土+腐葉土で育苗) の18本中1本で葉あり。	写真オニー 12, 13, 14, 15

環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類
植 物	ギン ラン	生 育 個 体 の 確 認 ・ 移 植 先 の 森 林 整 備	5月16日に移植先及び周辺における個体の生育確認と移植先の周辺環境整備 1) 移植先及び周辺における個体の生育確認 平成25年度生育確認場所と平成27年度及び平成28年度の移植場所ではギンランは確認できなかった。昨年度にギンランを確認した周辺の林内でもギンランは確認できなかった。周辺に真新しいニホンジカの糞を確認した。 2) 移植先の周辺環境整備 移植先及び周辺の林内で臨床の低木や草本の鎌による刈り込み作業を行った。	写真ギン- 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7
			5月31日に移植先及び周辺における個体の生育確認 平成25年度生育確認場所と平成27年度及び平成28年度の移植場所ではギンランは確認できなかったが、昨年度にギンランを確認した周辺の林内では13個体の開花したギンランを確認した。1箇所から2個体が生育している場所もあった。	写真ギン- 8, 9, 10, 11, 12
動 物	ベニ モン マ ダ ラ	幼 虫、 成 虫 等 の 生 息 確 認	6月7日に生息基盤移植先（平尾用水法面）における幼虫の生息確認 調査の結果、生息基盤移植先（平尾用水法面）の枠内で10個体、枠外で16個体の幼虫を確認し、昨年の3個体に比べ増加していた。なお、生息基盤となるクサフジの生育は順調で、大きな株も目立つ。	写真ベニ-1, 2
	クリ イロ ベッ コウ	移 植 先 に お け る 個 体 の 確 認	6月14日に移植先における個体の生息の確認 クリイロベッコウの生息確認調査を実施。調査の結果、対象事業実施区域の移植先（事業予定地南）でクリイロベッコウ生貝2個体、死貝1個体を確認した。なお、確認した陸産貝類は事業予定地南で7個体、事業予定地東で11個体であるが、クリイロベッコウ以外の個体は現在種の識別中である。	写真クリ- 1, 2, 3, 4
	希 少 猛 禽 類	対 象 事 業 実 施 区 域 の 変 更 等 の 営 巣 活 動 の 確 認	6月11日に定点観察 定点観察により、ハチクマ5例、チョウゲンボウ1例を確認。注目行動としてはハチクマによる対象事業実施区域よりも南方で林内に入ったこと、チョウゲンボウによる餌を探すことを確認した。 6月13日に定点観察 定点観察により、ハチクマ2例、チョウゲンボウ1例、ハヤブサ1例を確認。注目行動としてはハヤブサによる餌運搬を確認した。なお、ハヤブサについては餌を持って動物調査地域の西から東へ飛去したため、事業地至近での繁殖の可能性は低いと考えられる。	写真モウ-1, 2 写真モウ-3

環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類
水 象	地 下 水 位	地 下 水 位 モ ニ タ リ ン グ	4月22日に地下水位のモニタリングを実施。 調査地点は対象事業実施区域周辺の3地点とした。 各地点の結果は昨年度と同程度であり、地下水位の低下が見られないことから、地下水利用や地盤沈下への影響はほとんどないと考えられるため、新たな環境保全措置は実施しなかった。 ・調査地点No. 1：786.59m(昨年度同月：789.07m) ・調査地点No. 2：743.38m(昨年度同月：743.73m) ・調査地点No. 3：724.53m(昨年度同月：725.50m)	写真チカ-1
			5月23日に地下水位のモニタリングを実施。 調査地点は対象事業実施区域周辺の3地点とした。 各地点の結果は昨年度と同程度であり、地下水位の低下が見られないことから、地下水利用や地盤沈下への影響はほとんどないと考えられるため、新たな環境保全措置は実施しなかった。 ・調査地点No. 1：786.83m(昨年度同月：789.31m) ・調査地点No. 2：743.46m(昨年度同月：743.93m) ・調査地点No. 3：724.68m(昨年度同月：725.00m)	写真チカ-2
			6月26日に地下水位のモニタリングを実施。 調査地点は対象事業実施区域周辺の3地点とした。 各地点の結果は昨年度と同程度であり、地下水位の低下が見られないことから、地下水利用や地盤沈下への影響はほとんどないと考えられるため、新たな環境保全措置は実施しなかった。 ・調査地点No. 1：788.32m(昨年度同月：788.71m) ・調査地点No. 2：744.43m(昨年度同月：743.43m) ・調査地点No. 3：724.92m(昨年度同月：724.90m)	写真チカ-3

－ 公表・公開情報 －

発行	①環境影響調査事後調査実施状況（概要版）3月号 ②環境保全措置・事後調査実施状況（概要版）4月号
内容	① 1 建設工事に伴う環境保全措置について 2 生活環境に対する事後調査について ② 1 ヤエガワカンバ成木の生育状況について 2 オニヒョウタンボク幼木の生育状況について
方法	ホームページに掲載

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-1
	撮影日	H31.4.22
	平成27年4月18日移植個体の 生育確認(樹木活力度調査)及 び管理 移植木の全景 樹高12.2m、胸高直径44.0cm、 枝張り5.5mであり、樹高と胸 高直径が昨年より増えている。 なお、発生しているキノコに生 長などの変化は見られない。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-2
	撮影日	R1.5.16
	平成27年4月18日移植個体の 生育確認(樹木活力度調査)及 び管理 移植木の全景 展葉したが一部の枝が枯れて いる。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-3
	撮影日	R1.6.7
	平成27年4月18日移植個体の 生育確認(樹木活力度調査)及 び管理 移植木の全景 十分に展葉したが一部の枝が 枯れ、葉の量が少ない。	

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-4
	撮影日	H31.4.22
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個 体) 個体No.③ 樹高51.5cm、根元直径10mm 出葉はまだ見られない。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-5
	撮影日	H31.4.22
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個 体) 個体No.⑤ 樹高42.0cm、根元直径9mm 出葉始まる。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-6
	撮影日	H31.4.22
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個 体) 個体No.⑦ 樹高54.0cm、株立ち(根元直 径14mm、11mm、7mm) 出葉はまだ見られない。	

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-7
	撮影日	H31.4.22
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理 個体No.④ 樹高26.0cm、根元直径7mm 出葉はまだ見られない。 (大きいポットに植え替え)	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-8
	撮影日	H31.4.22
	平成28年4月18日播種個体の 生育確認及び管理 個体No.① 樹高33.0cm、根元直径8mm 出葉始まる。 (大きいポットに植え替え)	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-9
	撮影日	H31.4.22
	平成29年4月21日播種個体の 生育確認及び管理 個体No.① 樹高28.5cm、根元直径7mm 出葉始まる。 (大きいポットに植え替え)	

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-10
	撮影日	H31.4.22
	平成30年4月10日播種個体の 生育確認及び管理 床蒔き 発芽個体(実生)消失	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-11
	撮影日	H31.4.22
	平成30年4月10日播種個体の 生育確認及び管理 プランター蒔き 出葉はまだ見られない。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-12
	撮影日	H31.4.22
	平成30年4月10日播種個体の 生育確認及び管理 プランターからポットへの植え 替え 1ポットに幼木5本ずつ、計30 ポット(幼木150本)の植え替え を行う。	

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-13
	撮影日	H31.4.22
	平成30年4月10日播種個体の 生育確認及び管理 プランターからポットへの植え 替え完了 幼木の樹高は約2～6.5cmで 根元直径は1mm。出葉はまだ 見られない。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-14
	撮影日	R1.5.16
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個 体) 個体No.③ 樹高51.5cm、根元直径10mm 展葉した。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-15
	撮影日	R1.5.16
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個 体) 個体No.⑤ 樹高42.0cm、根元直径10mm 展葉した。葉の形状からシラ カンバの可能性が高い。	

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-16
	撮影日	R1.5.16
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個 体) 個体No.⑦ 樹高56.0cm、株立ち(根元直 径14mm、11mm、7mm) 展葉した。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-17
	撮影日	R1.5.16
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理 個体No.④(左側) 樹高26.5cm、根元直径7mm 展葉した。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-18
	撮影日	R1.5.16
	平成28年4月18日播種個体の 生育確認及び管理 個体No.①(中央) 樹高34.0cm、根元直径8mm 展葉した。葉の形状からシラ カンバの可能性が高い。	

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-19
	撮影日	R1.5.16
	平成29年4月21日播種個体の 生育確認及び管理 個体No.① 樹高29.0cm、根元直径7mm 展葉した。葉の形状からシラ カンバの可能性が高い。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-20
	撮影日	R1.5.16
	平成30年4月10日播種個体の 生育確認及び管理 No.1～16 樹高2.5cm～7.0cm、根元直 径1mm 展葉した。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-21
	撮影日	R1.5.16
	平成30年4月10日播種個体の 生育確認及び管理 No.17～30 樹高4.5cm～7.5cm、根元直 径1mm 展葉した。	

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-22
	撮影日	R1.6.7
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個 体) 個体No.③ 樹高51.5cm、根元直径10mm 十分に展葉した。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-23
	撮影日	R1.6.7
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個 体) 個体No.⑤ 樹高58.0cm、根元直径10mm 十分に展葉した。葉の形状か らシラカンバの可能性が高 い。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-24
	撮影日	R1.6.7
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個 体) 個体No.⑦ 樹高65.0cm、株立ち(根元直 径14mm、11mm、7mm) 十分に展葉した。	

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-25
	撮影日	R1.6.11
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理 個体No.④(左側) 樹高26.5cm、根元直径8mm 十分に展葉した。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-26
	撮影日	R1.6.11
	平成28年4月18日播種個体の 生育確認及び管理 個体No.①(中央) 樹高36.0cm、根元直径10mm 十分に展葉した。葉の形状か らシラカンバの可能性が高 い。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-27
	撮影日	R1.6.11
	平成29年4月21日播種個体の 生育確認及び管理 個体No.① 樹高31.0cm、根元直径7mm 十分に展葉した。葉の形状か らシラカンバの可能性が高 い。	

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-28
	撮影日	R1.6.11
	平成30年4月10日播種個体の 生育確認及び管理 No.1～16 樹高5.5cm～11.5cm 順調に生長している。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-29
	撮影日	R1.6.11
	平成30年4月10日播種個体の 生育確認及び管理 No.17～30 樹高7.0cm～11.0cm 順調に生長している。	

	保 全 対象種	オニヒヨウタンボク
	写 真 番 号	オニ-1
	撮影日	R1.5.16
	平成27年4月20日移植個体の 状況確認(樹木活力度調査) 順調に展葉し、開花または結 実している。 No.⑥の一部に虫食いが確認 された。 (写真はNo.⑥個体)	
	保 全 対象種	オニヒヨウタンボク
	写 真 番 号	オニ-2
	撮影日	R1.5.16
	平成27年4月20日移植個体の 状況確認(樹木活力度調査) 開花の様子。	
	保 全 対象種	オニヒヨウタンボク
	写 真 番 号	オニ-3
	撮影日	R1.5.16
	平成27年4月20日移植個体の 状況確認(樹木活力度調査) 結実の様子。	

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-4
	撮影日	R1.5.16
	平成27年4月20日移植個体の 状況確認(樹木活力度調査) No.⑥の一部に見られた虫食 い跡。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-5
	撮影日	R1.5.16
	平成27年7月15日播種個体の 育苗状況確認 No.① 樹高4.0cm、根元直径 4mm 枯死した。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-6
	撮影日	R1.5.16
	平成29年6月29日播種個体の 育苗状況確認(ポット) No.③ 樹高5.5cm、根元直径 2mm 展葉した。	

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-7
	撮影日	R1.5.16
	平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) No.⑪ 枯死した。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-8
	撮影日	R1.5.16
	平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) No.⑰ 樹高21.0cm、根元直径6mm 開花後で展葉した。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-9
	撮影日	R1.5.9
	平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) No.⑰ 開花の様子(5月9日)	

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-10
	撮影日	R1.5.16
	平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗(駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土+腐葉土で育苗) 18本中の16本で展葉あり。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-11
	撮影日	R1.5.16
	平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) 挿し木から発根後まで日向で育苗(駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土+腐葉土で育苗) 18本中の11本で展葉あり。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-12
	撮影日	R1.6.11
	平成29年6月29日播種個体の育苗状況確認(ポット) No.③ 樹高6.0cm、根元直径2mm	

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-13
	撮影日	R1.6.11
	平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) No.⑰ 樹高21.5cm、根元直径6mm	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-14
	撮影日	R1.6.11
	平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗(駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土+腐葉土で育苗) 18本中の6本で葉あり。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-15
	撮影日	R1.6.11
	平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) 挿し木から発根後まで日向で育苗(駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土+腐葉土で育苗) 18本中の1本で葉あり。	

	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-1
	撮影日	R1.5.16
	移植先及び周辺における個体の生育確認 平成25年度ギンラン確認場所 ギンランは確認できない。	
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-2
	撮影日	R1.5.16
	移植先及び周辺における個体の生育確認 平成27年度移植場所 ギンランは確認できない。	
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-3
	撮影日	R1.5.16
	移植先及び周辺における個体の生育確認 平成28年度移植場所 ギンランは確認できない。	

	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-4
	撮影日	R1.5.16
	移植先及び周辺における生育 個体の確認 昨年度にギンランを確認した 周辺の林内 ギンランは確認できない。	
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-5
	撮影日	R1.5.16
	移植先及び周辺における生育 個体の確認 昨年度にギンランを確認した 周辺の林内 真新しいニホンジカの糞を確 認。	
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-6
	撮影日	R1.5.16
	移植先の周辺環境整備 作業前	

	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-7
	撮影日	R1.5.16
	移植先の周辺環境整備 作業後	
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-8
	撮影日	R1.5.31
	移植先及び周辺における個体の 生育確認 平成25年度ギンラン確認場所 ギンランは確認できない。	
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-9
	撮影日	R1.5.31
	移植先及び周辺における個体の 生育確認 平成27年度移植場所 ギンランは確認できない。	

	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-10
	撮影日	R1.5.31
	移植先及び周辺における個体の生育確認 平成28年度移植場所 ギンランは確認できない。	
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-11
	撮影日	R1.5.31
	移植先及び周辺における個体の生育確認 昨年度に5個体を確認した周辺の林内で、今年度は開花した13個体を確認した。	
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-12
	撮影日	R1.5.31
	移植先及び周辺における個体の生育確認 1箇所から2個体が生育している場所もあった。	

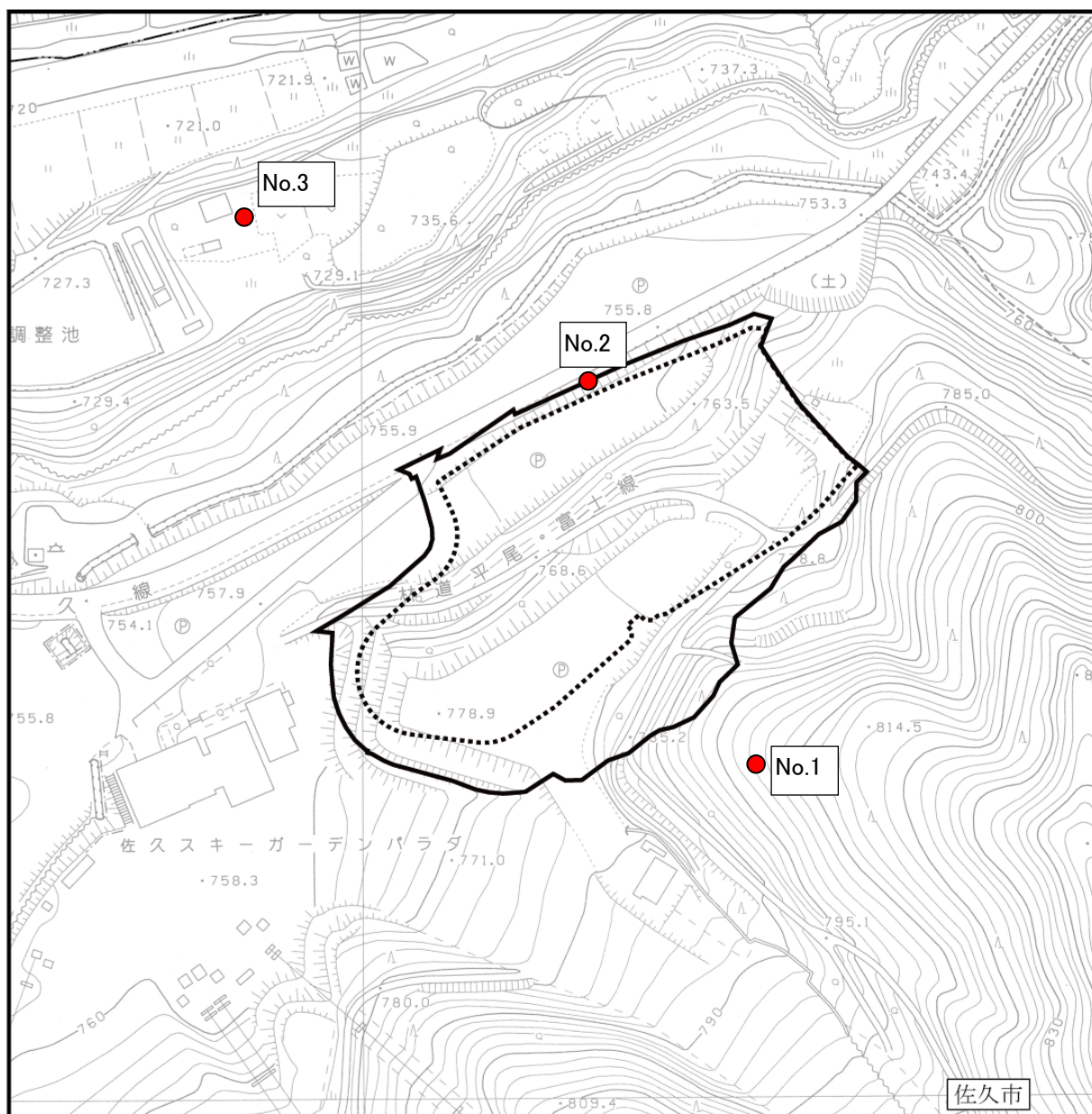
	保 全 対象種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-1
	撮影日	R1.6.7
	生息基盤移殖先(平尾用水法 面)における幼虫 確認固体	
	保 全 対象種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-2
	撮影日	R1.6.7
	生息基盤移殖先(平尾用水法 面)のクサフジ クサフジの生育は順調で、大 きな株も目立つ。	

	保 全 対象種	クリイロベッコウ
	写 真 番 号	クリ-1
	撮影日	R1.6.14
	クリイロベッコウ移植先における個体の生息確認 対象事業実施区域周辺における調査 (写真は事業予定地南の調査)	
	保 全 対象種	クリイロベッコウ
	写 真 番 号	クリ-2
	撮影日	R1.6.14
	クリイロベッコウ移植先における個体の生息確認 事業予定地南で採取したクリイロベッコウ生貝(1個体目)。 個体の殻径は約7mm。	
	保 全 対象種	クリイロベッコウ
	写 真 番 号	クリ-3
	撮影日	R1.6.14
	クリイロベッコウ移植先における個体の生息確認 事業予定地南で採取したクリイロベッコウ生貝(2個体目)。 個体の殻径は約7mm。	

	保 全 対 象 種	クリイロベッコウ
	写 真 番 号	クリ-4
	撮影日	R1.6.14
	クリイロベッコウ移殖先における個体の生息確認 事業予定地南で採取したクリイロベッコウ死貝。 個体の殻径は約6.5mm。	

	保 全 対象種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-1
	撮影日	R1.6.11
	確認種:ハチクマ成鳥(雄) 対象事業実施区域の南方向(動物調査地域境界付近)で中空を飛翔する雄成鳥。繁殖に関係する注目行動は見られなかった。	
	保 全 対象種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-2
	撮影日	R1.6.11
	確認種:チョウゲンボウ成鳥(雌) 動物調査地域よりも南西方向で餌を探しながら飛翔する雌成鳥。	
	保 全 対象種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-3
	撮影日	R1.6.13
	確認種:ハヤブサ成鳥(雌) 動物調査地域の西から東に餌を持って飛翔する雌成鳥。遠方へ飛去したと考えられる。	

	保 全 対象種	地下水位
	写 真 番 号	チ力-1
	撮影日	R1.5.23
	地下水調査 調査実施状況 (写真は地点No.1)	
	保 全 対象種	地下水位
	写 真 番 号	チ力-2
	撮影日	R1.5.23
	地下水調査 調査実施状況 (写真は地点No.2)	
	保 全 対象種	地下水位
	写 真 番 号	チ力-3
	撮影日	R1.5.23
	地下水調査 調査実施状況 (写真は地点No.3)	



凡 例

- : 対象事業実施区域
- : 計画施設用地
- : 地下水位調査地点

—— : 市町界



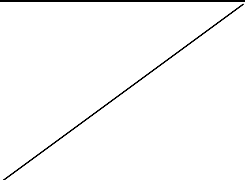
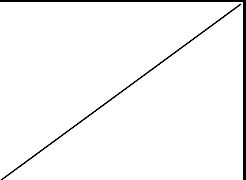
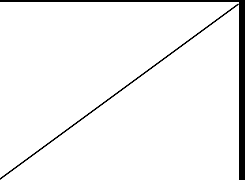
0 50m 100m

地下水位調査地点

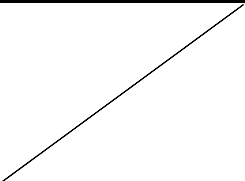
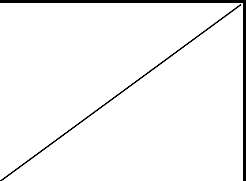
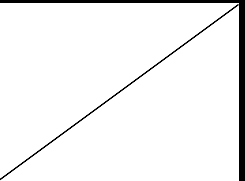
平成31年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表 対象種【ヤエガワカンバ】

対象期間【平成31年4月～令和1年11月】

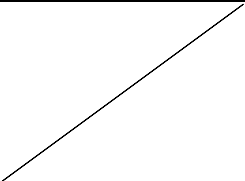
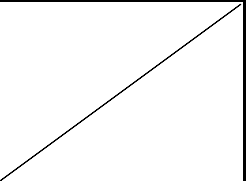
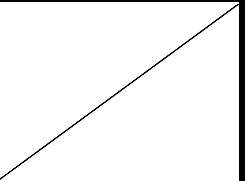
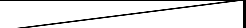
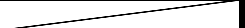
【措置項目】成木の移植

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月		
平成27年4月18日に対象事業実施区域内より対象事業実施区域外へ移植を行い、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	樹高12.2m(昨年12.0m)、胸高直径44.0cm(昨年41.0cm)、枝張り5.5m(昨年5.5m)であり、樹高と胸高直径が昨年より増えている。なお、発生しているキノコに生長などの変化は見られない。	展葉したが一部の枝が枯れている。キノコにはまだ目立った生長は見られない。	十分に展葉したが一部の枝が枯れ、葉の量が少ない。キノコにはまだ目立った生長は見られない。						(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)		
	撮影日:4月22日	撮影日:5月16日	撮影日:6月7日								

【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月		
平成27年4月23日に播種し、平成30年3月8日に生育順調な3個体を対象事業実施区域内に移植。以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	No.③ 樹高51.5cm、根元直径10mm 出葉はまだ見られない。	No.③ 樹高51.5cm、根元直径10mm 展葉した。	No.③ 樹高51.5cm、根元直径10mm 十分に展葉した。						(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)		
	撮影日:4月22日	撮影日:5月16日	撮影日:6月7日								

【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月		
平成27年4月23日に播種し、平成30年3月8日に生育順調な3個体を対象事業実施区域内に移植。以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	No.⑤ 樹高42cm、根元直径9mm 出葉始まる。	No.⑤ 樹高42cm、根元直径10mm 展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。	No.⑤ 樹高58cm、根元直径10mm 十分に展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。						(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)		
	撮影日:4月22日	撮影日:5月16日	撮影日:6月7日								

平成31年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表
対象種【ヤエガワカンバ】

対象期間【平成31年4月～令和1年11月】

【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月		
平成27年4月23日に播種し、平成30年3月8日に生育順調な3個体を対象事業実施区域内に移植。以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	No.⑦ 樹高54cm、株立ち(根元直径14mm、11mm、7mm) 出葉はまだ見られない。	No.⑦ 樹高56cm、株立ち(根元直径14mm、11mm、7mm) 展葉した。	No.⑦ 樹高65cm、株立ち(根元直径14mm、11mm、7mm) 十分に展葉した。						(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)		
	撮影日:4月22日	撮影日:5月16日	撮影日:6月7日								

【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月		
平成27年4月23日に播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	No.④ 樹高26cm、根元直径7mm 出葉はまだ見られない。	No.④(左側) 樹高26.5cm、根元直径7mm 展葉した。	No.④(左側) 樹高26.5cm、根元直径8mm 十分に展葉した。						(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)		
	撮影日:4月22日	撮影日:5月16日	撮影日:6月11日								

【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月		
平成28年4月18日に播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	No.① 樹高33cm、根元直径8mm 出葉始まる。	No.①(中央) 樹高34cm、根元直径8mm 展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。	No.①(中央) 樹高36cm、根元直径10mm 十分に展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。						(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)		
	撮影日:4月22日	撮影日:5月16日	撮影日:6月11日								

平成31年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表
対象種【ヤエガワカンバ】

対象期間【平成31年4月～令和1年11月】

【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月		
平成29年4月21日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	No.① 樹高28.5cm、根元直径7mm 出葉始まる。	No.① 樹高29cm、根元直径7mm 展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。	No.① 樹高31cm、根元直径7mm 十分に展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。						(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)		
	撮影日:4月22日	撮影日:5月16日	撮影日:6月11日								

【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月		
平成30年4月10日に床蒔きし、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	床蒔き 発芽個体(実生)消失	床蒔き 実生が消失したため生育確認を中止。									
	撮影日:4月22日										

【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月		
平成30年4月10日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	プランター蒔き 出葉はまだ見られない。 この後、プランターからポットへ植え替えを行う(1ポットに幼木5本ずつ、計30ポット幼木150本)。	樹高2.5cm～7.5cm、根元直径1mm 展葉した。	樹高5.5cm～11.5cm 順調に生育している。						(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)		
	撮影日:4月22日	撮影日:5月16日	撮影日:6月11日								

平成31年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表
対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【令和1年5月～令和1年11月】

【措置項目】成木の移植 ※成木の生育状況が順調であることからモニタリングは令和1年5月と9月に実施。

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月		
平成27年4月20日に対象事業実施区域内より対象事業実施区域外へ移植を行い、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
		全ての個体で順調に展葉して開花している。一部の個体に結実も見られる。							(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)		
		撮影日:5月16日									

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月		
平成27年7月15日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
		①樹高4cm、根元直径4mm 枯死した。	枯死したため生育確認を中止。								
		撮影日:5月16日									

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月		
平成29年6月29日に新たに種子20個をプランターに播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
		③樹高5.5cm、根元直径2mm 展葉した。	③樹高6cm、根元直径2mm						(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)		
		撮影日:5月16日	撮影日:6月11日								

平成31年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表
対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【令和1年5月～令和1年11月】

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月		
平成29年3月14日に20本を挿し木し(発根促進剤使用)、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
		⑪ 枯死した。	枯死したため生育確認を中止。								
		撮影日:5月16日									

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月		
平成29年3月14日に20本を挿し木し(発根促進剤使用)、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
		⑪樹高21cm、根元直径6mm 5月9日に開花して展葉した。	⑪樹高21.5cm、根元直径6mm						(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)		
		撮影日:5月16日	撮影日:6月11日								

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月		
平成31年3月8日に18本を挿し木(発根促進剤使用)。 ＜挿し木条件＞ 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗(駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土＋腐葉土で育苗)											
		18本中の16本で展葉あり。	18本中の6本で葉あり。						(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)		
		撮影日:5月16日	撮影日:6月11日								

平成31年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表
 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【令和1年5月～令和1年11月】

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月		
平成31年3月8日に18本を挿し木(発根促進剤使用)。 <挿し木条件> 挿し木から発根後まで日向で育苗(駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土+腐葉土で育苗)											
		18本中の11本で展葉あり。	18本中の1本で葉あり。						(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)		
		撮影日:5月16日	撮影日:6月11日								

1. 新クリーンセンター整備スケジュール(案)

2. 対象事業の実施状況一覧

36

施工状況(4月～6月)

実施月	実施状況	写真
4月	・プラットフォーム工区 掘削、捨てコン、基礎地中梁配筋 ・ごみピット工区 掘削、捨てコン、 基礎・地中梁配筋、型枠、コンクリート打設 ・灰処理工区 2Fデッキコンクリート打設、 機械基礎配筋、型枠、コンクリート打設 ・炉室工区 各機器（焼却炉、減温塔、触媒反応塔、 非常用発電機、蒸気タービン、タービン発電機、 灰バンカ、薬品タンク他） 搬入・取込み・据付・調整 ・炉室工区 プラント架構 第1節 グレーチング敷設、 手摺り取付、第2節鉄骨建て方、本締め	
5月	・プラットフォーム工区 基礎・地中梁 配筋・型枠・コンクリート打設・脱枠・埋戻し ・ごみピット工区 基礎・地中梁 配筋・型枠・コンクリート打設、1F土間配筋・ 止め枠・コンクリート打設、ごみピット内部、 足場嵩上げ、ごみピット1F立上り柱・壁配筋 ・灰処理工区 2Fデッキコンクリート打設、 機械基礎 配筋・型枠・コンクリート打設 ・タービン工区 鉄骨第1節建て方 ・炉室工区 各機器（脱気器、集じん器、 温風循環装置、ストローブシル用送風機、 各排弁、ダスト排出装置他） 搬入・取込み・据付・調整 ・炉室工区 プラント架構 第2節本締め、 グレーチング敷設、手摺り取付、タッチアップ 塗装	
6月	・事務所棟工区 掘削・根切り・砕石・ 捨てコン・ハイバースランカー設置・地中梁配筋 ・プラットフォーム工区 砕石・防湿シート敷き・ 捨てコン・土間配筋・土間コン打設 ・ごみピット工区 1F立上り柱壁配筋・型枠・ デッキ敷き・スラブ配筋 ・灰処理工区 2F薬品タンク防液堤内耐薬塗装・第3節建て方 ・タービン工区 第2節建て方・デッキ敷き・スラブ配筋 ・炉室工区 各機器据付調整・ 集じん器シル溶接・ダクト組立溶接・ボイラ組立 ・灰処理工区 根太組立・グレーチング敷設・各機器（灰出装置・ 主灰切替装置・混練機・処理物搬送CV他） 搬入・取込み・据付調整	

◆施設建設工事中の施工業者による環境保全措置実施状況

調査年月日:2019年4月1日～6月30日

調査対象事項		関連項目	環境保全措置の内容	実施状況			添付書類
				4月	5月	6月	
工事関係車両の走行	1 走行時間の分散	大気質、騒音、振動、 触れ合い活動の場	工事関係車両の走行が集中しないよう走行の時期・時間の分散に努める。 特に朝の通学時間帯は極力避けるように配慮する。	○	○	○	写真1 参考資料1(非公開)
	2 交通規制等の遵守	大気質、騒音、振動、 触れ合い活動の場	工事関係車両は、速度や積載量等の交通規制及び指定走行ルート、 標示規制等を遵守するよう指導する。	○	○	○	写真1 参考資料1(非公開)
	3 アイドリングストップ・エコドライブの励行	大気質	工事関係車両のアイドリングストップ・エコドライブを徹底する。	○	○	○	写真1
	4 土砂運搬車両等のタイヤ洗浄	大気質	建設地から退出する工事関係車両等の洗車を適宜実施する。	○	○	○	写真2
	5 工事用車両出入り口の路面洗浄等	大気質	建設中の構内道路への散水や鉄板の敷設等を行う。	○	○	○	写真3
	6 土砂搬出車両荷台のシート掛け	大気質	土砂を搬出入する場合の車両荷台へのシートの敷設を行う。	—	—	○	写真4
	7 交通整理員の配置	触れ合い活動の場	スキー場の営業期間中については、必要に応じて交通整理員を配置 するなど、出入口付近での車両の交錯を防止する。	○	○	○	写真5
	8 北パラダを利用する一般車両への配慮	触れ合い活動の場	スキー場の営業期間中については、来場者が多くなる土・日曜日の 工事関係車両の走行を避けるように努める。	○	○	○	写真1 参考資料1(非公開)
建設機械の稼働	1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)	大気質、騒音、振動、 動物・生態系、 触れ合い活動の場	建設機械は、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型の使用や低騒 音型・低振動型工法の採用に努める。	○	○	○	写真6～11 参考資料1(非公開)
	2 建設機械稼働時間の抑制	大気質	建設機械は、アイドリングストップを徹底する。	○	○	○	写真12
	3 建設機械稼働時間の分散	騒音、振動、 触れ合い活動の場	建設機械の稼働台数が集中しないよう工事の時期・時間の分散に努 める。	○	○	○	写真12 参考資料1(非公開)

※実施状況欄 ○:実施 —:未実施(実施不要)

調査対象事項		関連項目	環境保全措置の内容	実施状況			添付書類
				4月	5月	6月	
建設機械の稼働	4	工事区域の仮囲い・遮音壁の設置	大気質、騒音	建設地周辺へ工事用仮囲いを設置する。 必要に応じて対象事業実施区域境界に遮音壁を設置する。			写真13
	5	工事区域への散水等	大気質、植物、生態系	建設中の構内道路への散水や鉄板の敷設等を行う。 散水を実施することで、粉じんの発生を防止し、周辺に生育する植物への影響を低減する。			写真14
土地造成、掘削、樹木の伐採	1	安全な掘削方法の検討	地形・地質	—	—	—	—
	2	計画・設計時の配慮	地形・地質	施設計画において、安定計算の実施、マニュアル等に基づく適切な設計、浸食防止排水溝の設置等を行う。			—
	3		地形・地質	切土工事に際し、仮排水路への排水ができるようにし、沈砂池に集水して濁水の土砂を沈殿させてから放水する。			—
	4	工事計画の配慮	触れ合い活動の場	○	○	○	参考資料1(非公開)
	5	広範囲の裸地化の抑制	水質	段階的な切盛り工事の実施などの工事計画の検討により一時的な広範囲の裸地化を抑制する。			—
	6	工事区域外からの流入抑制	水質	○	○	○	写真15
	7	造成工事の休止	水質	台風、集中豪雨等が予想される場合には、造成工事を行わない。			—
	8	造成面等からの濁水発生対策	水質	—	—	—	—
	9	沈砂池等の設置、維持管理	水質	—	—	—	—
	10	雨水排水の濁りの監視	水質	—	—	—	—
	11	雨水排水の水温の監視	水質、植物、動物、生態系	—	—	—	—

※実施状況欄 ○：実施 —：未実施(実施不要)

調査対象事項			関連項目	環境保全措置の内容	実施状況			添付書類
		4月			5月	6月		
土地造成、掘削、樹木の伐採	12	揚水量を低減する掘削工法等の検討	水象	計画時実施済み				—
	13	止水壁等の設置による水位低下の防止	水象	計画時実施済み				—
	14	コナラ林の改変の回避	生態系	計画時実施済み				—
	15	対象事業実施区域境界の林縁保護	植物、動物、生態系	○	○	○	写真16	
	16	対象事業実施区域周辺で営巣が確認された場合の工期変更等	動物、生態系	—	—	—	—	
	17	工事関係者への啓発（動植物等）	植物、動物、生態系	○	○	○	写真17 参考資料1(非公開)	
舗装工事・コンクリート工事	1	中和処理	水質	○	○	○	写真18	
	2	水素イオン濃度の監視	水質	○	○	○	写真19	
発生土、建設廃棄物、伐採木	1	建設発生土の再利用	廃棄物等	○	○	○	参考資料2(非公開)	
	2	公共事業等での有効利用	廃棄物等	○	○	○	参考資料2(非公開)	
	3	アスファルト・コンクリート塊、木くず、伐採木等の再生利用	廃棄物等	—	—	—	—	
	4	現場での分別排出	廃棄物等	○	○	○	写真20	
	5	適正な管理（土壌）	廃棄物等	計画時実施済み				—

※実施状況欄 ○:実施 —:未実施(実施不要)



写真1

工事関係車両の走行

No.1

走行時間の分散

No.2

交通規制等の遵守

No.3

アイドリングストップ・エコドライブの励行

No.8

北パラダを利用する

一般車両への配慮

撮影日 2019/4/3



写真2

工事関係車両の走行

No.4

土砂運搬車両等の

タイヤ洗浄

撮影日 2019/5/9



写真3

工事関係車両の走行

No.5

工事用車両出入り口の

路面洗浄等

撮影日 2019/5/25

 <table border="1" data-bbox="229 504 598 757"> <tr> <td>工 事 件 名</td><td>平成28年度 福岡型社会形成推進交付金事業新幹線-九州-建設工事</td></tr> <tr> <td>工 種</td><td>環境保全</td></tr> <tr> <td>種 別</td><td>工事関係車両の走行 6</td></tr> <tr> <td>19.6月</td><td>土砂搬出車両荷台のシート掛け</td></tr> <tr> <td>撮影年月日</td><td>2019/06/12</td></tr> <tr> <td>施 工 者</td><td>福岡・北九州空港建設工事共同企業体</td></tr> </table>	工 事 件 名	平成28年度 福岡型社会形成推進交付金事業新幹線-九州-建設工事	工 種	環境保全	種 別	工事関係車両の走行 6	19.6月	土砂搬出車両荷台のシート掛け	撮影年月日	2019/06/12	施 工 者	福岡・北九州空港建設工事共同企業体	写真4 工事関係車両の走行 No.6 土砂搬出車両荷台のシート掛け 撮影日 2019/6/12
工 事 件 名	平成28年度 福岡型社会形成推進交付金事業新幹線-九州-建設工事												
工 種	環境保全												
種 別	工事関係車両の走行 6												
19.6月	土砂搬出車両荷台のシート掛け												
撮影年月日	2019/06/12												
施 工 者	福岡・北九州空港建設工事共同企業体												
 <table border="1" data-bbox="229 1086 598 1361"> <tr> <td>工 事 件 名</td><td>平成28年度 福岡型社会形成推進交付金事業新幹線-九州-建設工事</td></tr> <tr> <td>工 種</td><td>環境保全</td></tr> <tr> <td>種 別</td><td>工事関係車両の走行 7</td></tr> <tr> <td>19.5月</td><td>交通整理員の配置</td></tr> <tr> <td>撮影年月日</td><td>2019/05/25</td></tr> <tr> <td>施 工 者</td><td>福岡・北九州空港建設工事共同企業体</td></tr> </table>	工 事 件 名	平成28年度 福岡型社会形成推進交付金事業新幹線-九州-建設工事	工 種	環境保全	種 別	工事関係車両の走行 7	19.5月	交通整理員の配置	撮影年月日	2019/05/25	施 工 者	福岡・北九州空港建設工事共同企業体	写真5 工事関係車両の走行 No.7 交通整理員の配置 撮影日 2019/5/25
工 事 件 名	平成28年度 福岡型社会形成推進交付金事業新幹線-九州-建設工事												
工 種	環境保全												
種 別	工事関係車両の走行 7												
19.5月	交通整理員の配置												
撮影年月日	2019/05/25												
施 工 者	福岡・北九州空港建設工事共同企業体												
 <table border="1" data-bbox="229 1713 598 1944"> <tr> <td>工 事 件 名</td><td>平成28年度 福岡型社会形成推進交付金事業新幹線-九州-建設工事</td></tr> <tr> <td>工 種</td><td>環境保全</td></tr> <tr> <td>種 別</td><td>建設機械の稼働 1</td></tr> <tr> <td>19.4月</td><td>(対策型建設機械の使用 排ガス対策型、低騒音型、低振動型)</td></tr> <tr> <td>撮影年月日</td><td>2019/04/12</td></tr> <tr> <td>施 工 者</td><td>福岡・北九州空港建設工事共同企業体</td></tr> </table>	工 事 件 名	平成28年度 福岡型社会形成推進交付金事業新幹線-九州-建設工事	工 種	環境保全	種 別	建設機械の稼働 1	19.4月	(対策型建設機械の使用 排ガス対策型、低騒音型、低振動型)	撮影年月日	2019/04/12	施 工 者	福岡・北九州空港建設工事共同企業体	写真6 建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型) ラフタークレーン 25t 撮影日 2019/4/12
工 事 件 名	平成28年度 福岡型社会形成推進交付金事業新幹線-九州-建設工事												
工 種	環境保全												
種 別	建設機械の稼働 1												
19.4月	(対策型建設機械の使用 排ガス対策型、低騒音型、低振動型)												
撮影年月日	2019/04/12												
施 工 者	福岡・北九州空港建設工事共同企業体												

 <table border="1"> <tr> <td>工 事 件 名</td> <td>平成28年度 環境型社会形成推進交付金事業第797号-建設工事</td> </tr> <tr> <td>工 種</td> <td>環境保全</td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td>建設機械の稼働 1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">19.4月 (対策型建設機械の使用 排ガス対策型、低騒音型、低振動型)</td> </tr> <tr> <td>撮影年月日</td> <td>2019/04/12 施 工 者 有限・中島建設株式会社 吉田 隆</td> </tr> </table>	工 事 件 名	平成28年度 環境型社会形成推進交付金事業第797号-建設工事	工 種	環境保全	種 別	建設機械の稼働 1	19.4月 (対策型建設機械の使用 排ガス対策型、低騒音型、低振動型)		撮影年月日	2019/04/12 施 工 者 有限・中島建設株式会社 吉田 隆	写真7 建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型) バックホー(0.25m³) 撮影日 2019/4/12
工 事 件 名	平成28年度 環境型社会形成推進交付金事業第797号-建設工事										
工 種	環境保全										
種 別	建設機械の稼働 1										
19.4月 (対策型建設機械の使用 排ガス対策型、低騒音型、低振動型)											
撮影年月日	2019/04/12 施 工 者 有限・中島建設株式会社 吉田 隆										
 <table border="1"> <tr> <td>工 事 件 名</td> <td>平成28年度 環境型社会形成推進交付金事業第797号-建設工事</td> </tr> <tr> <td>工 種</td> <td>環境保全</td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td>建設機械の稼働 1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">19.4月 (対策型建設機械の使用 排ガス対策型、低騒音型、低振動型)</td> </tr> <tr> <td>撮影年月日</td> <td>2019/04/12 施 工 者 有限・中島建設株式会社 吉田 隆</td> </tr> </table>	工 事 件 名	平成28年度 環境型社会形成推進交付金事業第797号-建設工事	工 種	環境保全	種 別	建設機械の稼働 1	19.4月 (対策型建設機械の使用 排ガス対策型、低騒音型、低振動型)		撮影年月日	2019/04/12 施 工 者 有限・中島建設株式会社 吉田 隆	写真8 建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型) バックホー(0.45m³) 撮影日 2019/4/12
工 事 件 名	平成28年度 環境型社会形成推進交付金事業第797号-建設工事										
工 種	環境保全										
種 別	建設機械の稼働 1										
19.4月 (対策型建設機械の使用 排ガス対策型、低騒音型、低振動型)											
撮影年月日	2019/04/12 施 工 者 有限・中島建設株式会社 吉田 隆										
 <table border="1"> <tr> <td>工 事 件 名</td> <td>平成28年度 環境型社会形成推進交付金事業第797号-建設工事</td> </tr> <tr> <td>工 種</td> <td>環境保全</td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td>建設機械の稼働 1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">19.4月 (対策型建設機械の使用 排ガス対策型、低騒音型、低振動型)</td> </tr> <tr> <td>撮影年月日</td> <td>2019/04/12 施 工 者 有限・中島建設株式会社 吉田 隆</td> </tr> </table>	工 事 件 名	平成28年度 環境型社会形成推進交付金事業第797号-建設工事	工 種	環境保全	種 別	建設機械の稼働 1	19.4月 (対策型建設機械の使用 排ガス対策型、低騒音型、低振動型)		撮影年月日	2019/04/12 施 工 者 有限・中島建設株式会社 吉田 隆	写真9 建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型) バックホー(0.7m³) 撮影日 2019/4/12
工 事 件 名	平成28年度 環境型社会形成推進交付金事業第797号-建設工事										
工 種	環境保全										
種 別	建設機械の稼働 1										
19.4月 (対策型建設機械の使用 排ガス対策型、低騒音型、低振動型)											
撮影年月日	2019/04/12 施 工 者 有限・中島建設株式会社 吉田 隆										

 工事件名 平成28年度 福岡型社会形成推進交付金事業第77-78号 建設工事 工 種 環境保全 種 別 建設機械の稼働 1 19.4月 (対策型建設機械の使用 排ガス対策型、低騒音型、低振動型) 撮影年月日 2019/04/12 施 工 者 株式会社 福岡型社会形成推進事業団	写真10 建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型) クローラークレーン 55t 撮影日 2019/4/12
	写真11 建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型) クローラークレーン 200t 撮影日 2019/6/11
	写真12 建設機械の稼働 No.2 建設機械稼働時間の抑制 No.3 建設機械稼働時間の分散 撮影日 2019/5/28

 工 事 件 名 平成28年度 南薩型社会形成推進交付金事業第2分団7-建設工事 工 種 環境保全 種 別 建設機械の稼働 4 19.5月 工事区域の仮囲い・遮音壁の設置 撮影年月日 2019/05/24 施 工 者 南薩・中津地区建設工事関係 企業体	写真13 建設機械の稼働 No.4 工事区域の仮囲い ・遮音壁の設置 撮影日 2019/5/24
 工 事 件 名 平成28年度 南薩型社会形成推進交付金事業第2分団7-建設工事 工 種 環境保全 種 別 建設機械の稼働 5 19.5月 工事区域への散水等 撮影年月日 2019/05/25 施 工 者 南薩・中津地区建設工事関係 企業体	写真14 建設機械の稼働 No.5 工事区域への散水等 撮影日 2019/5/25
	写真15 土地造成、掘削、樹木の伐採 No.6 工事区域外からの流入抑制 撮影日 2019/5/24

	写真16 土地造成、掘削、樹木の伐採 No.15 対象事業実施区域境界 の林縁保護 撮影日 2019/5/24												
	写真17 土地造成、掘削、樹木の伐採 No.17 工事関係者への啓発 (動植物等) 撮影日 2019/6/4												
 <table border="1"> <tr> <td>工事件名</td> <td>平成28年度 橋樑型社会形成推進交付金事業第19-20号-建設工事</td> </tr> <tr> <td>工 種</td> <td>環境保全</td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td>舗装工事・コンクリート工事 1</td> </tr> <tr> <td>19.5月</td> <td>中和処理</td> </tr> <tr> <td>撮影年月日</td> <td>2019/05/18</td> </tr> <tr> <td>施 工 者</td> <td>有限会社 中田建設工業株式会社</td> </tr> </table>	工事件名	平成28年度 橋樑型社会形成推進交付金事業第19-20号-建設工事	工 種	環境保全	種 別	舗装工事・コンクリート工事 1	19.5月	中和処理	撮影年月日	2019/05/18	施 工 者	有限会社 中田建設工業株式会社	写真18 舗装工事・コンクリート工事 No.1 中和処理 撮影日 2019/5/18
工事件名	平成28年度 橋樑型社会形成推進交付金事業第19-20号-建設工事												
工 種	環境保全												
種 別	舗装工事・コンクリート工事 1												
19.5月	中和処理												
撮影年月日	2019/05/18												
施 工 者	有限会社 中田建設工業株式会社												

 工事件名 平成28年度 国土型社会形成推進交付金事業第1号「水門」建設工事 工 種 環境保全 種 別 舗装工事・コンクリート工事 1 19.5月 中和処理 撮影年月日 2019/05/18 施 工 者 有限会社建設工事業部内 田中 隆雄	写真19 舗装工事・コンクリート工事 No.2 水素イオン濃度の監視 PH6(環境基準8.5以内) 撮影日 2019/5/18
 工事件名 平成28年度 国土型社会形成推進交付金事業第1号「水門」建設工事 工 種 環境保全 種 別 発生土、建設廃棄物、伐採木 4 19.5月 現場での分別排出 撮影年月日 2019/05/23 施 工 者 有限会社建設工事業部内 田中 隆雄	写真20 発生土、建設廃棄物、伐採木 No.4 現場での分別排出 撮影日 2019/5/23